

分析		
試験時間 60 分	配点 100 点	大問数 4 題
分量 (昨年比較) [減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/>	難易度変化 (昨年比較) [易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化 <input type="checkbox"/>	
<p>【概評】</p> <p>例年通り、全問マークセンス方式で、設問数は 40 問である。大問数は 4 題で、本年も系統地理から 2 題、地誌から 1 題、地域調査から 1 題であった。図、地理院地図、写真、ハイサーグラフ、グラフ、統計表、地図など用いられる資料は多様である。統計に関わる出題では、地理的思考力により正答を導ける問題が多い。〔Ⅱ〕の地域調査では、昨年の中津市に引き続き今年も大分県の市が出題された。〔Ⅱ〕問 10 のように大都市ではない国内の都市についての知識が問われることもあるが、全体としてみれば、難易度は標準といえる。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
〔Ⅰ〕	寒帯気候	問 1. [3] 空欄の後の「極圏 (北半球では北極圏、南半球では南極圏) といわれる」から判断。問 2. 極東ロシアのオイミヤコンは亜寒帯気候下に位置する。問 3. ベドウィンアラブの遊牧民。問 5. イ. ツンドラ気候は南半球にはあまり分布しない。ウ. ツンドラ土は成帯土壌。エ. タイガは亜寒帯気候下に生育する針葉樹林。問 6. ウ. 赤道上で太陽が正午に真上に来るのは春分・秋分のみ。	標準
〔Ⅱ〕	大分県別府市を中心とした地域調査	問 3. ウ. 水平距離 250 m 程度に対して標高差は 110 m 程度であり、傾斜は約 45 度より小さい。問 4. γ の稜線の両側はともに集水域に含まれる。 α の両側も集水域に含まれるが、 α は谷線である。問 8. アがペシャワール、イがチュニス、ウがブエノスアイレス、エが大分。問 9. アが草津、イが白浜、ウが登別、エが別府。問 10. アが舞鶴、イが銚子、ウが呉、エが別府。	やや難

設問別講評			
〔Ⅲ〕	第一次産業，第二次産業	問1. (C)②企業の牧畜が盛んなのはグレートプレーンズ。問2. (A)がフィリピン，(B)がニュージーランド，(C)が日本，(D)がイギリス。問3. (A)が生乳，(B)が大豆，(C)がたまねぎ。問4. (A)がドイツ，(B)がスペイン，(C)がオランダ，(D)がイタリア。問5. (ウ)自動車部品の輸出は増加傾向にある。問6. ①がセメント工場，②が自動車組立工場，③が製紙工場。	標準
〔Ⅳ〕	アメリカ合衆国およびカナダ	(1)②ジョージア州は南部に区分。(2)②イエローストーンはロッキー山脈に位置。(4)②南部に次いで工業生産額が多いのは中西部。(5)①ミシシッピ川とミズーリ川が合流するのはセントルイス。(6)冬小麦は春小麦より低緯度に分布する。(8)セグリゲーションとは人種や民族による住み分け。(10)カナダの穀倉地帯はアルバータ，サスカチュワン，マニトバの3州。	標準

合格のための学習法

関西大学の入試地理の解答形式は，全問マークセンス方式となっている。高校地理で学習する単元から幅広く出題されていることから，教科書だけでなく，日頃から資料集や地図帳，統計表なども活用して学習することが求められる。

教科書については，本文の理解はもちろん，掲載されている図表や写真などについても目を通しておきたい。復習する際，単元で学んだ知識や考え方を，自分の言葉で説明したり，それまでに学んできた知識や考え方にも関連付けて考察したりすることにより，理解を深めていこう。また，教科書に掲載されている統計値は，必ず確認しておこう。さらに，知らない地名が出てきたら，その都度，地図帳で位置を確認することを習慣づけよう。問題演習の際には，選択肢中のそれぞれの要素ごとに正誤を判断することを積み重ねることにより，知識や考え方を確実に身につけておきたい。